

平成21年度 第2回理事会開催

議事録要旨

1 開会の日時および場所

日 時 平成21年9月16日(水)
14:15～15:46
場 所 東海大学校友会館 三保の間

2 理事の現在数及び出席者数

理事現在数 22名 出席者数 22名

3 出席者名(理事)(委任出席を含む)

向井敏雄	森實 裕	保坂益男
宮本 茂	壺山和憲	足立民雄
川村 尚	梅原秀夫	飯島裕幸
宮内光則	小松正和	大崎精一郎
石黒靖規	中村泰三	澤田 正
土屋眞琴	松島敏之	富島康之
中村 護	大西宣嗣	横矢忠志
西川貞紀		

(監 事)山川安豊

4 開会次第

開会次第に則り、保坂事務局長の司会により、議長就任まで会議を進行した。

1 開会の辞

保坂益男事務局長が「平成21年度第2回理事会」の開会を宣した。

2 会長挨拶

議事に先立って、向井会長から、次の旨の挨拶があった。

「衆議院の総選挙が実施され、民主党の鳩山新内閣が誕生した。まさにこれから新しい政治の流れが生まれてくるものと思う。民主党がどんな政策をとっていかははっきりとは見えないが、しかし公共工事や補正予算につい

て見直しをすると名言している。現在、われわれ建設業界は大変厳しい経営環境が続いているが、今よりももっと厳しくなることが予想される。

先般、羽田空港、胆沢ダムの現場を見学させていただいた。大変厳しい環境のなかで、黙々と働いている方々の苦勞をみると、なんとかしても業界における過当競争をなくして、少ない工事を分け合って、少しでも利益の出る受注形態になるように、協調と連体の精神が構築されれば大変ありがたいと思う。

限られた時間ではありますが、議案審議を進めてまいります。議事進行にご協力をお願い申し上げます。簡単ではありますが、開会のご挨拶と致します。」

3 理事会成立宣言

(議長就任)

定款第14条2項に基づき、向井会長が議長席に就き、議事に入る旨を宣した。

(理事会成立宣言)

続いて議長から、事務局に本理事会の理事の出席状況の報告が求められた。

保坂事務局長から、「理事総数22名中、本日の出席理事数は(委任出席を含む)22名であり、定款第25条の規定を満たしているので本理事会は成立する」旨の報告があり、これを受けて議長が、「本理事会の成立」を宣した。

4 議事録署名人の指名

議長が、議事録署名人に次の2氏を指名し、議場で了承された。

議事録署名人 壺山和憲 梅原秀夫

5 議 事

議事の経過の要領及び議案別の議決の結果(可決、否決の別及び賛否の議決権数並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名)

1. 報告事項

議長から事務局に対して報告事項についての説明を求められたので、保坂事務局長から以下の通り、配布資料に基づいて逐次説明が行われた。

1) 平成21年度第1回理事会以降の事業経過報告について

資料-1(平成21年度第1回理事会以降事業経過報告)に基づき、5月27日に開催された(社)日本建設機械化協会の60周年記念式典より、9月15日に開催された建設物価懇談会までの事業や行事等の実施概要について。(協会機関紙・機械土工に掲載済)

2) 委員会事業報告

(1) 総務委員会関係

① 下請資金繰り支援事業について

資料-2(下請資金繰り支援事業、下請資金繰り支援事業実績、下請資金繰り支援事業における債権買取限度額等の内容)に基づき

○本事業は、ファクタリング会社が、買戻しの条件なしで手形を買い取る制度。

○手形の買取りを行うファクタリング会社
・北保証サービス株式会社 011-241-8654
・株式会社建設経営サービス03-3545-8562
・株式会社建設総合サービス06-6543-2843

○事業実績

・7月 買取債権数 52
買取総額 2億4千万円
・8月 買取債権数 110
買取総額 5億9千万円

同上支援事業は、本協会などの強い要望で2年間の時限で制度が作られたが、利用が少ないと継続されないおそれがあるので、活用していただきたい。

(2) 技術委員会関係

① 平成21年度1級・2級建設機械施工技術検定実地試験受験準備講習会の実施状況について

資料-3(平成21年度建設機械施工技術検定(実地)試験受験準備講習会・種別受講者集計表)に基づき、全国9地区・12会場((北海道・石狩)(東北・多賀城)(関東・橋本、秩父)(北陸・新潟、粟津)(中部・刈谷)(近畿・明石、小野)(中国・広島)(四国・善通寺)(九州・須恵))で、692名の受講者を対象に実施した同上準備講習会の開催結果について。(静岡会場は別途報告)

(3) 労働安全委員会関係

① 海外建設研修生の受入れ状況について

資料-4(海外建設技術・技能研修生受入れ研修実施に関する事業)に基づき、9月16日現在の技能研修生の在留状況は2社3名、また現在までの研修実績874名、今後の入国予定は11名(10月入国)。

実習生の在留状況は4社9名であり、現在までの実績243名。移行予定3社14名。

② 平成21年度いきいき・やりがい作文コンクールの応募状況について

資料-5(平成21年度作文コンクールへの応募作文の一覧)に基づき、応募49編の概要。

(4) 企画特別委員会関係

① 登録機械土工基幹技能者講習の実施状況について

資料-6(登録機械土工基幹技能者講習の実施状況(9月現在))に基づき、登録機械土工基幹技能者講習修了者数は440名。

同上講習の今後の開催計画は、
・特例講習は10月24日・富士宮市「富士教育訓練センター」で開催予定で受講者を募集中。
・特認定講習は10月23日～25日・札幌市「北海道セミナーセンター」、仙台市「仙台職業訓練センター」、名古屋市「名古屋中

小企業福祉会館」、福岡市「南近代ビル」で開催を計画し、現在受講者を募集している。

◎発言者・山川監事

静岡支部においても認定講習(10月23日～25日)の開催を計画しているので、受講してほしい。

◎発言者・玉石理事

九州支部は講習の「講師」が少なく、特定の講師が大きな負担をしている。講師候補者を対象に「講師養成講習会」を開催し、講師を増員してほしい。

また、認定講習、特例講習の募集等の記載順番については、特定の受講者を対象とした特例講習より、今後主体となる認定講習を先に掲載してほしい。

②厚生労働省委託事業「ジョブ・カード制度普及のためのモデル事業(活用モデル構築事業)」の実施状況について

資料-7(平成21年度ジョブ・カード制度普及のためのモデル事業委託契約書、委託費交付内訳、委託事業実施計画書、年間スケジュール表、各事業実施内容、ジョブ・カード制度)に基づいて、22年3月31日までに、

○傘下企業に対する人材確保・育成ニーズ調査

○訓練実施に関心のある企業向け説明会の開催

○訓練実施予定企業共通のモデルカリキュラム及び能力評価マニュアルの作成

○訓練担当者の育成

○訓練希望者と訓練予定企業の合同説明会・面接会の開催

を協会として実施する。

また、協会が作成したモデルカリキュラムで、会員事業所が平成22年4月から入社した従業員に対して訓練(OFF-JT・集合訓練及びOJT・職場内教育)を実施した場合(あらかじめ所管官庁から許可をいた

いた上で)、訓練と賃金に対する助成制度があります。

3) (社)建設産業専門団体連合会関係

(1)第131回国土交通省との定例意見交換会の開催について

資料-8(第131回 国土交通省と(社)建設産業専門団体連合会との定例意見交換会議事次第、出席者名簿、意見交換資料)に基づき、

○若年層の入職促進と法定福利費について(発言者・日本造園組合連合会)

・施工に従事する作業員の給与体系を調査し、雇用保険加入の有無による何らかのアドバンテージを検討いただくか、法定福利費の別枠計上を認めていただきたい。

・元請の指値発注を是正し、工事原価に見合った適正価格での発注指導。

・建設業における指値発注や重層下請構造などを考慮した、公共工事労務費調査制度におけるサンプリング方法など調査実施方法の改善。

○基幹技能者の適正評価と活用促進について(発言者・(社)全国鉄筋工事業協会)

・基幹技能者の常駐モデル事業を推進しながら、基幹技能者の工事現場への配置義務、入札制度での配置に対する加点措置、設計労務単価への基幹技能者単価の反映などを検討していただきたい。これらの施策により、建設業界共有の財産である基幹技能者の雇用の安定化、処遇の改善、技能者の標準的なキャリアパスの設定、建設業への入職の動機付け等に資することが期待できる。

○4者協議の推進について(発言者・全国基礎工業協同組合連合会)

・発注者、設計者、施工者による3者協議に我々専門工事業者も加えた「4者協議」の推進を提案する。これにより、建設生産

システムへの各参加者(発注者・設計者・元請・下請)が、建設工事の適正価格等の認識を共有できるようになり、ひいては価格偏重入札の是正も期待できる。

○元下間の契約適正化の指導について(発言者・(社)全国鐵構工業協会)

・国土交通省では、駆け込みホットラインの創設、ダンピング対策、立入調査の強化、総合評価方式の導入・拡大、三者会議等の対策や指導をとっておられるが、元下間の片務契約の改善および適正価格での契約について、さらなる指導をお願いします。

○元請が民事再生法等適用となった場合の下請企業の債権保全策等について(発言者・日本建設輻体工事業団体連合会)

・「建設業倒産損害補償制度」(仮称)なる制度の創設を提案させていただく。これは、元請の倒産時に被る下請業者の損害を補償するものであり、その原資は発注原価に含まれるものとする。ダンピング受注を15～20%もする中で、せめて1%前後の「建設業倒産損害補償制度」の原資を発注者、元請の相互補完の中で確保していくことができないものか、検討いただきたい。

議長は、以上の報告事項に関する案件について質疑を求めた後、議場に諮ったところ出席理事全員異議なく、案件は了承された。

2. 審議事項

1) 第32回経営研修会の開催について

議長が、同上案を上程し事務局に説明を求めたので、事務局長が資料-9(平成21年度・第32回経営研修会(案))に基づき、

開催年月日 平成22年2月3日・14時(水)
～4日・12時(木)

研修・懇親会場 「ホテルラングウッド」
東京都荒川区東日暮里5-

50-5(JR日暮里駅・駅前)

宿 泊 参加者各自自由
(ホテルラングウッドでの宿泊希望者については、協会が受付ける。)

講 師 等 担当委員会で、候補者を決定する。

と説明した。

議長は案件について、「研修会のテーマを決めて、テーマに添った講師を選定する」方法をとってほしいと発言したあと、議場に質疑を求めた。

○発言者・宮本常任理事

・大変厳しい経営環境の中で開催するので、開催に係る経費と研修会費に出来るだけ差がないように計画してほしい。

・宿泊の有無等できめ細かく会費を設定してほしい。

・12月ごろになると、我々を取り巻く環境の変化全体が見えてくると思う。そこで会員事業所にとって有意義なテーマ、講師を選定してほしい。

この後、議長は同上案件を議場に諮ったところ、出席理事は全員異議なく、案件を承認した。

2) 平成21年度最新建設機械施工現場見学研修会の実施について

議長が事務局に案件についての説明を求めたので、事務局長が資料-10(平成21年度最新建設機械施工現場見学・研修会(案))に基づき、

開催年月日 平成21年10月29日～30日

見 学 場 所 当別ダム建設現場
(北海道石狩郡当別町)

研修・宿泊場所 札幌プリンスホテル
(札幌市中央区)

地域交流会 同上会場

で実施したい。と説明した。また、玉石技術委員長に補足説明をお願いした。

◎発言者・玉石技術委員長

当ダムはCSG工法(建設現場周辺で得られる材料を、セメント水と混合したものを、ブルドーザで撒き出し、振動ローラで転圧することによって構造物を造成する工法であり、現場の材料を有効活用し、環境負荷の軽減とコスト削減を図る。)で建設されていることと、情報化施工も実施されているので、この2点を勉強するため当ダムを選定した、と詳細な説明をした。

議長は案件について、質疑を求めた後、議場に諮ったところ、出席理事は全員異議なく、案件を承認した。

3)平成22年春の叙勲候補者の推薦について

議長が事務局に案件についての説明を求めたので、事務局長が資料-11(平成22年春の叙勲・褒章候補の推薦について(依頼))に基づき、同案の概要を説明し、個人のプライバシーに係わることなので、関係者の意見を参考に、候補者の推薦については会長に一任をお願いしたい、と説明をした。

議長は案件について議場に諮ったところ、出席理事は全員異議なく、案件が承認された。

議長から「次回理事会・勲章等受章者の祝賀会の日程については、

日時 平成21年12月7日(月)
理事会 15:00～
祝賀会 17:45～
場所 東海大学校友会館

で開催したい」との発言があった。出席理事は全員異議なく、同上案件が承認された。

また、議長から「例年祝賀会には国土交通省はじめ関係の方々のご臨席があるので、協会の役員などにおかれては万障お繰り合わせの上、ご出席をお願いしたい。」との発言があった。

そのあと、「予定の案件はすべて終了した。

その外に、ご意見等がおありの向きは、どうぞ」と促がされたが、議場から格別の発言はなかった。

議長から、「大変お忙しいなかからご出席いただき、ご審議いただいたことに謝意を表す」旨が述べられ、本日の理事会の終了を宣した。

時に15時46分。

以上の議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人は、次に署名捺印するものとする。

平成21年9月16日

議長	向井敏雄
議事録署名人	壺山和憲
同	梅原秀夫